

平成26年度厚生労働科学研究費補助金（小児期からの希少難治性消化管疾患の移行期を包含するガイドラインの確立に関する研究）田口智章班
Hirschsprung 病類縁疾患・ガイドライン作成グループ 会議
2015.02.13 大宮

パレスホテル大宮 4F シクラメン・ライラック 14:00-15:30

出席者 田口（班長）、松藤（グループリーダー）、友政、位田、春間、眞部、漆原、渡邊、内田、下島、上野滋、瓜田、工藤孝広、荒木、曹、住田、深堀、山田佳之、河合

渡邊芳夫先生が3月で退職。4月から研究協力者として参加。代わりに同施設の住田互先生に分担研究者に加わっていただくことにする。

議題

1. システマティックレビューの進め方 聖路加国際大学・河合富士美（PP 資料）

2. エビデンス表の記載方法 聖路加国際病院 荒木夕宇子（Excel 資料）

3. ガイドライン作成チーム 役割（Excel 資料）

4. 質疑応答

現在河合さんがピックアップしている文献数が英文 500、邦文 200 で合計 700、まずこれを荒木先生を中心に聖路加小児外科にて一次スクリーニングすることになった。

つぎにこれをシステマティックレビュー(SR)チームに分配して、エビデンス表を作成する。現在のガイドライン作成チーム、およびシステマティックレビュー(SR)チームの構成を確認し、メンバーに関する質疑応答を行った。その結果、ガイドライン作成チームのメンバーの入れ替えおよび追加が行われた。また SR チームはメンバー数が少ないので若手を中心に各施設から人を出してもらおうようお願いすることにした。

5. 今後の日程（松藤案）

- ・ 作成目的の明確化
- ・ 作成主体の決定
- ・ 事務局・診療ガイドライン作成組織の編成

	ガイドラインチーム	システマティックレビューチーム	
2015.01.31	Scope 作成, 文献検索	チーム編成	
2015.03.31	Hirschsprung 病類縁 7 疾患の基本的特徴の締め切り		
		システマティックレビュー	
2015.08.31	推奨文作成		
2015.12.31	診療ガイドライン草案		

平成26年度厚生労働科学研究費補助金（小児期からの希少難治性消化管疾患の移行期を包含するガイドラインの確立に関する研究）田口智章班
 Hirschsprung 病類縁疾患・ガイドライン作成グループ 会議
 2015.02.13 大宮

2016	パブリックコメント		
2016	公開		
	普及・導入・評価		
	改訂		

上記の提案をうけて、討論した結果、以下のようになった。

- 2015.03.31 Hirschsprung 病類縁7疾患の基本的特徴の締め切り（疾患グループ長）
- 2015.04.30 文献の一次スクリーニング終了（荒木先生他）
- 2015.07.31 システマティックレビュー終了（SR チーム）
- 2015.08.31 SR チームの作成したエビデンス表を CQ 別に分類（荒木、河合）
- 2015.09.01 そのデータをガイドラインチームに送り、ガイドラインチームがまとめと推奨文の草案にとりかかる。

2015年9月下旬 班会議開催し CQ 別に進捗状況を発表。

次のロードマップ

- 2015.10.31 推奨文草案完成
- 2015.12.31 ガイドライン草案完成
- 2016年 パブリックコメント
- 2016年3月 公開

公開法：Minds の HP、研究班の HP、難病情報センターの HP、日本小児外科学会の HP、日本小児栄養消化器肝臓学会の HP、日本小児消化管機能研究会 HP、冊子体の作成は？メジカルビュー社との交渉では研究費 150 万円程度支出すれば出版可能。

文責：田口智章・松藤 凡・河合富士美